

## 「支障がない状態の確認」について



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部地方整備局営繕部  
静岡営繕事務所

1

## パンフレットの内容



### 支障がない状態の確認

国家機関の建築物及びその附帯施設の保全に関する基準



Maintenance and Management of Government Buildings



国土交通省大臣官房官庁営繕部  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Government Buildings Department

### 《主な内容》

- ◆ 支障がない状態の確認とは
- ◆ 庁舎の部位・劣化状況写真
- ◆ 確認用チェックリスト

2

## 官公法 第十三条

国家機関の建築物及びその付帯施設の位置、規模及び構造並びに**保全について基準**を定める



(平成17年5月27日 国土交通省告示第551号)

国家機関の建築物及びその付帯施設の  
**保全に関する基準**

**支障がない状態に保全されているものとする**

通称:13条確認

3

## 支障がない状態の確認とは

支障がない状態に保全されていことを  
**施設保全責任者が確認する行為**

### 対象施設

すべての国家機関の建築物と  
その付帯施設(仮設建築物を除く)

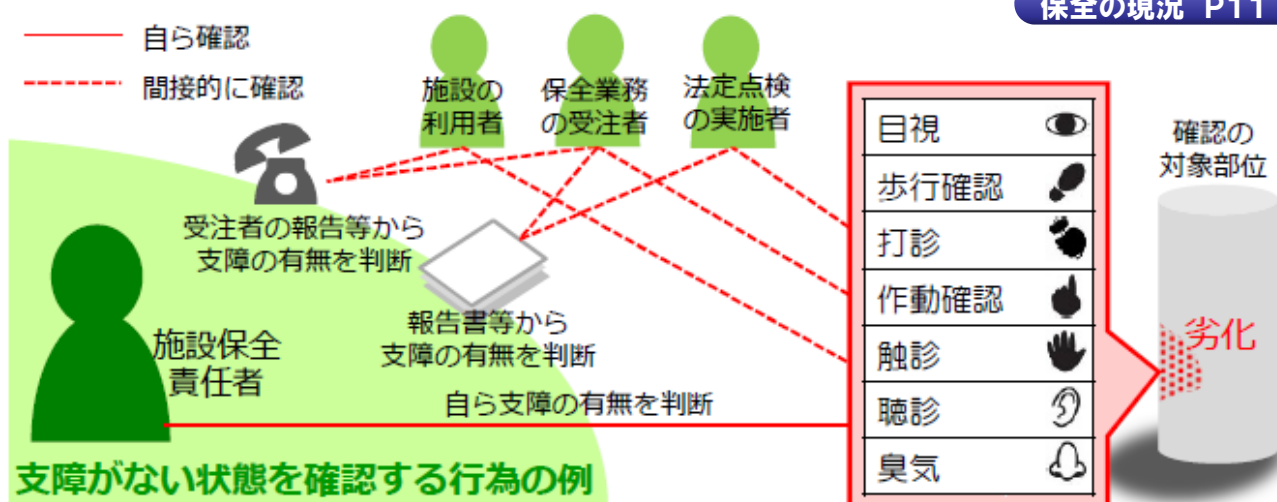
### 資格要件

点検ではなく確認行為であるため**資格不要**

### 確認周期

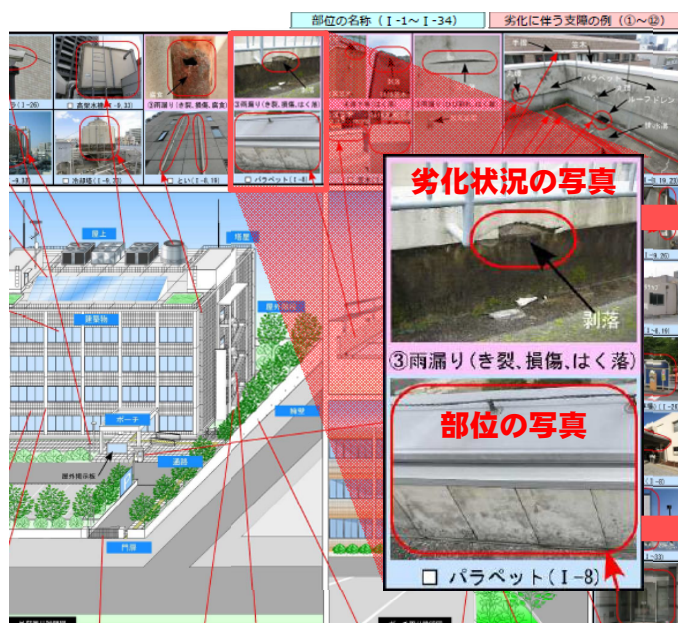
建築物の敷地及び構造:概ね1年  
建築設備:概ね6ヶ月~1年

4



点検を外部委託している場合は、その結果を確認することで  
「支障がない状態の確認」とすることができる  
職員・来庁者など建築物利用者の意見も参考となる

## 一般的な事務庁舎のイラスト・写真



代表的な  
劣化に伴う支障の例  
①～⑫

確認の対象となる  
部位の名称  
I-1～I-34

## 支障がない状態の確認用チェックリスト

確認者氏名 保全 岡太郎

保全の現況 関-23・31

施設名称 ●●地方合同庁舎(本郷)

202X/X/05/30、202X/X/08/31

CK	部位の名称	支障	備考	写真等
✓	基礎			
×	木造	施設名称、確認者氏名及び実施日を記入	①～⑥のうち、当該部位における代表的な支障の例	
×	新建築			
×	補強(CB工法コンクリートブロック工法)	③④⑤		
×	鉄骨造(柱・梁・部材、アンカーボルト等)	①②		
×	RCC造・SRC造(柱・梁・壁等)	①②	12条点検で要修正の指摘	1
×	屋根上・外周上・バルコニー等	③④	4箇条緊急天井に漏水	1 9
×	ルーフドレイン、とい	③	屋上バルコニーに訪まり	1 9
×	屋根上・内外壁・内外扉、ドア等	③④		1
×	窓架水櫃、冷卻塔、手摺、煙突等	④		1
✓	防錆槽、手摺、広合板等	④	屋上手摺の下部に錆	1 3
×	共通	①②③④⑤⑥	水漏れ開口に簡便不備	1 1
×	防火扉、シャッター・ダンパー等	④⑤⑥⑦⑧⑨		1 8
×	自動車、電動式の防火扉等	④⑤⑥⑦⑧	自動車の火災発生時	
×	共通	①②③④⑤⑥		
×	床面の床	③④⑤	赤字で示された部位は法定点検の結果を活用して支障の有無を判断	
×	床仕上げ(カーペット、タイル等)	③④⑤		1 43
×	二重床(OAフロアを含む)	③④⑤		
×	階間の滑り止め	⑦	滑り止めに割れ	1-14
×	誘導ブロック	⑦		1-15
×	床口縁口	⑦		
×	防錆槽、手摺等	④	建築設備の作動不良は「共通」欄に記載	
×	防火区画となる壁、天井	①⑤⑥		1-17
×	防火区画の壁・天井、緊急天井	①⑤⑥		1-20
×	共通	②③	玄関インターホン不通	1-25
×	設備機器	②③④		1-26
×	確認を行った部位については✓を記入。存在しない部位には×を記入。	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	固定不良は「設備機器」欄に記載	
×	非常用照明	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺		1-30
×	給排水設備	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	休み明けに雨水がでる	1-32
×	屋内及び屋外の案内表示	③		
×	煙突、産業水櫃、換気等の工作物	③④		
×	敷設及び埋設箇所	③④		
×	駐車場及び敷地内道路	③④	支障があると判断した場合は、場所や気付きを記入	

「支障」欄の番号:①～⑫

＝【劣化に伴う支障】  
の写真番号

「写真等」欄の番号: I-00

＝保全の基準 別表第一  
(い)欄 部位の並び順

赤字で示す部位名称

赤字で示す支障

## 12条点検結果で判断可能

7

## 【劣化に伴う支障】の写真番号

		部位の名称	支障
<input type="checkbox"/>	落下の恐れがある部材	屋根仕上、内外装、内外壁、パラペット、笠木等	④
<input type="checkbox"/>		高架水槽、冷却塔、手摺、煙突等	④
<input type="checkbox"/>		防護柵、手摺、広告板等	④

「支障」欄の番号: ④

=【劣化に伴う支障】の写真番号





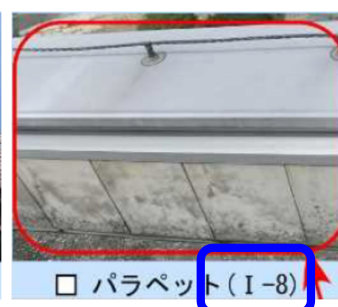
保全の現況 関-24

	部位の名称	支障	備考	写真等
<input type="checkbox"/>	屋根仕上、内外装、内外壁、パラペット、笠木等	④		I-8
<input type="checkbox"/>	落下の恐れがある部材	④		I-9
<input type="checkbox"/>	高架水槽、冷却塔、手摺、煙突等	④		I-23
<input type="checkbox"/>	防護柵、手摺、広告板等	④		

「写真等」欄の番号：I-8

＝保全の基準 別表第一(い)欄 部位の並び順

屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これらに類する用途に供する建築物の部分及び高架水槽、冷却塔その他建築物の屋外に取り付けるもの（以下「建築非構造部材」という。）	屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁、パラペット及び建具 高架水槽、冷却塔、手すり、煙突その他建築物の屋外に取り付けるもの
--	--



## 各部個別の劣化判定

判定	状況
支障なし	劣化なし、あるいは経年変化はあるが建築物利用上の支障なし
経過観察	<div>                         外壁亀裂・白華                         屋上防水の劣化                         天井漏水跡                         設備機器の錆                     </div> <div> </div>
要相談	<div>                         外壁鉄筋爆裂                         ルーフドレン詰まり                         設備機器の錆                         アンテナ変形                     </div> <div> </div>

- 確認は1日で完了させる必要はない。
- 確認は安全を確保して実施。
- 実施が困難な部位は下記により対応。  
(出入りが困難、危険を伴う場所など)

## 保全基準実施要領 第9 確認のための留意事項

確認が困難な部位



省略できる



当該部位に支障がある状態と認められる場合、その状態を記録し、専門知識を有する者に依頼

11

# 用具類の準備

確認作業は場所によって以下の用具を準備し、安全に留意して実施して下さい。



ヘルメット



双眼鏡



懐中電灯



デジタルカメラ



打診棒



巻き尺



クラックスケール

12